

**公益財団法人 鉄鋼環境基金**  
**第 40 回(2019 年度)研究助成事業 応募状況**

2019 年度の研究助成事業の公募は、4 月 1 日から 5 月 27 日までの募集期間で行った。研究助成事業実施規程第 4 条の改訂に伴い、今年度より、当財団からの助成研究の交付金については、研究組織のオーバーヘッド等の一般管理費を研究に必要な費用として研究費に含めても良いものとした。

今年度の応募状況は以下の通りである。

**【応募状況全般】**(カッコ内は過去 4 年の数字)

- ① 応募総数は **161 件** ('15:193、'16:177、'17:180、'18:146)であり、昨年度より 15 件、10%増加した。  
うち、新規テーマは 128 件、継続テーマは 33 件の応募であった。
- ② 大学からの応募は **130 件** ('15:157、'16:146、'17:144、'18:116)であった。
- ③ 高専からの応募は **12 件** ('15:19、'16:9、'17:16、'18:12)であった。
- ④ 研究所・団体等からの応募は **19 件** ('15:17、'16:23、'17:20、'18:18)であった。
- ⑤ 若手研究の応募は **35 件**・全体の 22% ('15:29・15%、'16:38・21%、'17:52・29%、'18:42・28%)。
- ⑥ 初めての応募者は **31 人**・全体の 19% ('15:68・35%、'16:55・31%、'17:60・33%、'18:41・28%)。

**【応募件数・助成件数の推移】**

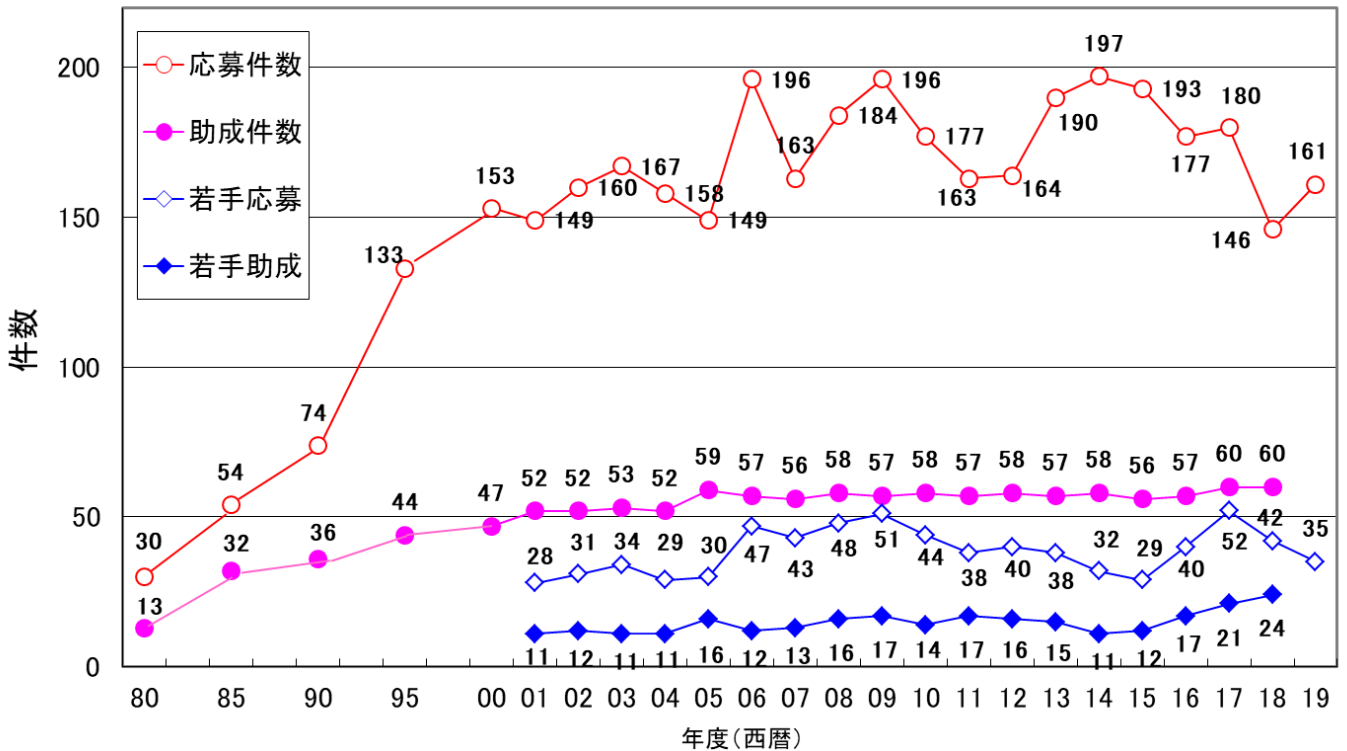


図 応募件数・助成件数の推移

【分野別応募件数】

分野	応募件数		
	一般	若手	合計
(1)大気環境保全技術	29	5	34
①省エネ・低コスト・高効率化	6	0	6
②水銀等重金属の低減	4	0	4
③PM2.5対策	19	5	24
④その他	0	0	0
(2)土壌・水質保全技術	48	15	63
①水処理の省エネ・低コスト・高効率化	14	9	23
②排水中重金属除去・回収	12	2	14
③土壌地下水汚染	14	2	16
④閉鎖性海域	8	2	10
⑤その他	0	0	0
(3)副産物利用促進・廃棄物効率的処理	27	6	33
①スラグの利用・高付加価値化	25	6	31
②副産物の減量減容化、再利用	2	0	2
③水銀汚染廃棄物の効率的処理	0	0	0
④その他	0	0	0
(4)地球環境問題	20	9	29
①抜本的CO <sub>2</sub> 排出削減	9	3	12
②未利用エネルギー有効活用	4	4	8
③CO <sub>2</sub> 分離・固定・隔離	7	2	9
④その他	0	0	0
(5)エコプロセス	2	0	2
①環境汚染物質の発生抑制・極小化	0	0	0
②循環型社会の構築	2	0	2
③その他	0	0	0
(6)その他	0	0	0
合計	126	35	161

下線：特に関心のある技術課題